

高瀬精  
編輯

幾何學新編

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

| 登錄<br>番 | 第  | 號 |
|---------|----|---|
| 算       | 幾何 | 門 |
| 算       | 幾何 | 部 |
| 算       | 幾何 | 項 |
| 算       | 幾何 | 次 |
| 算       | 幾何 | 冊 |
| 分類<br>番 | 第  | 號 |

校學範師高師縣岡

門 算  
番 幾  
號 28  
號 1

5冊ノ内

024391

T1A1

32

Ta53

幾何學新編卷之二

目錄

一 比例式總論

一 比例式諸變化

一 諸等式形

一 設題

幾何學新編卷之二

阿部有懷圖

東京 高瀬 精彌  
阿波 阿部素次郎校訂

比例式總論

凡物形彼此相似なる同種数の者ある時彼此を比べ  
る線より面積は積より角を求むるが如きは比式を藉  
るべしとて之を明する能はば是を以て比例式  
と云ふ日學中最有用の術也  
又數あり一を以て他を除し得る所の數之を比と稱

此は二数あり分數式を用ひ或は二数ありの記号を用申す右は一例を取て之を詳解せん

設如くA B 二数あり之を比とせば A B 或は A:B とするを A が 6m とあり B が 3m とせば其は左列の如し

$$\frac{6m}{3m} = 2m$$

或は

$$6m : 3m = 2m$$

あり

四数あり其二数に比後二数の比を等しけむ之を比例式と爲す或は此比例式の記号ハ:: 或ハ

: 二数用申

設如く A B C D の四数あり B A 又 D C は等した時之を比例式とせば

$$A : B :: C : D$$

或は

$$A : B = C : D$$

各四数あり

2 4 8 16

おとせば

$$\frac{4}{2} = \frac{16}{8}$$
$$2 : 4 :: 8 : 16$$

比例式中預め記號をばたを數件あり今之を前式に依てたり示す

其一 式中 A B C D は率と稱す

其二

A 及 D 或外率と稱す

其三

B 及 C 或内率と稱す

其四

A 及 B 或前率と稱し C 及 D 或後率と稱す

其五

A 及 C 或前後始率と稱し B 及 D 或前後末

率と稱す

其六

A B C 三数あり  $\frac{B}{A}$  ハ  $\frac{C}{B}$  ともしければ

之中比例と稱す別

$$A : B :: B : C$$

あり

第一款

四数あり前率お等しく後率お等しければ

比例式を作り得べし

A B C D 或四数と爲し A 及 B とも

く C 及 D とも等しければ前

二数に比各一量也故に比例式を作

ることを得べし

$$A : B :: C : D$$

第二款

外率相乗ハ内率相乗と等し

の比例式あり A B の

比と C D の

比と等なり故に

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

各々  
相乗す

$$B \times C = A \times D$$

附一

兩数のお乗他は数お乗するしけど一  
外率とし他は内率とし比例式を作りはべし

$$B \times C = A \times D$$

各項を  $A \times C$

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

故に

$$A : B :: C : D$$

附二

後末率を求むるは前末率を以て内率お  
乗除し之をばべし  
外率お乗ハ内率お乗するしけど

第三款

三数あり次方比例せば内率自乗ハ外率  
お乗するし

$$B \times C = A \times D$$

各項を  $A$

$$D = \frac{B \times C}{A}$$

あり故に比例式中三率お乗  
知せば他の一率を求めはる  
お知るべし

次方比例を  
より故に

$$A : B :: B : C$$
$$B^2 = A \times C$$

第四款

二数あり之に同数を乗せたり雖ども其比ハ

おなじし

A・B なる数とし各に m を乗

せしとバ  $mA$  と  $mB$  となる蓋し A・B

の比より  $\frac{B}{A}$  となりて  $mA$   $mB$  の比

は  $\frac{mB}{mA}$  極まりのどとし

$$\frac{mB}{mA} = \frac{B}{A}$$

之は比  
例式と  
おもふ時

$$A : B :: mA : mB$$

第五款

四数あり次第に比例せば其位置を轉換

するべし

前式を以て四数とせし

$$A : B :: mA : mB$$

内率お乘ハ  
外率お乘ハ  
字一た極

$$B \cdot mA = A \cdot mB$$

$$B : A :: mB : mA$$

第六款

兩比例式あり各の比率おあしければ各の  
比率を以て更に比例式を化し得べし

$$A : B = P : Q$$

$$a : b = P : Q$$

或は比例  
式とある  
とある

$$\frac{B}{A} = \frac{Q}{P}$$

$$\frac{b}{a} = \frac{Q}{P}$$

$$\frac{B}{A} = \frac{b}{a}$$

即

$$A : B :: a : b$$

附

各率の比及各項率の比より導くべし  
各項率を以て更に比例式有るを得べし

$$A : B :: C : D$$

$$M : N :: P : Q$$

$$\frac{B}{A} = \frac{N}{M}$$

$$\frac{D}{C} = \frac{Q}{P}$$

と云ふ  
と云ふ

$$C : D :: P : Q$$

第七款

幾何の比例式あり次有るは例有るを以て  
其率の和及各項率の和と比例有る

もし

A B C D 各率の比例有る者とす

$$A : B :: C : D$$

$$A : B :: E : F$$

$$A : B :: G : H$$

$$\dots\dots\dots$$

$$A : B :: A : B$$

二 一 九  
倍 方 式  
比 二 式  
と 款 係

$$A \times B = B \times A$$

$$A \times D = B \times C$$

$$A \times F = B \times E$$

$$\dots\dots\dots$$

が せ ぶ か 五

$$A(B + D + F + \dots) = B(A + C + E + \dots)$$

故

$$A : B :: A + C + E + \dots : B + D + F + \dots$$



第八款

四数あり次より比例せしむる時其比率  
と前率の和ハ後率と後率の和ハ比例すべし

$$A : B :: C : D$$

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

各項ハ一  
量を加ふ

$$\frac{B+A}{A} = \frac{D+C}{C}$$

比例式  
とす

$$A : A+B :: C : C+D$$

附

本款より依りて前率と其率の差ハ後率  
と後率の差と比例すべし

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

各項減一  
量より減

$$\frac{A-B}{A} = \frac{C-D}{C}$$

$$A : A-B :: C : C-D$$

第九款

四数あり次より比例せしむる時其比率  
和及差を以て後率の和及差と比例する数ハ一

算術の要義 卷之二 十一 比例の法

$$A : B :: C : D$$

前項 後項 比

$$A : A+B :: C : C+D$$

$$A : A-B :: C : C-D$$

各式の 率の 比 値

$$A : C :: A+B : C+D$$

$$A : C :: A-B : C-D$$

又 比 依 り 数 六 才

$$A+B : C+D :: A-B : C-B$$

$$A+B : A-B :: C+D : C-D$$

第十四款

或も其の可なり又比例をべし

四数あり次を以て例せば各率の某乗を

$$A : B :: C : D$$

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

各項の 比 値

$$\frac{B^n}{A^n} = \frac{D^n}{C^n}$$

$$A^n : B^n :: C^n : D^n$$

各項の 比 値

$$\frac{B^{\frac{1}{n}}}{A^{\frac{1}{n}}} = \frac{D^{\frac{1}{n}}}{C^{\frac{1}{n}}}$$

$$A^{\frac{1}{n}} : B^{\frac{1}{n}} :: C^{\frac{1}{n}} : D^{\frac{1}{n}}$$

第十五款

比例式の数ある其率の比に依りて其の比の式を生ず

$$A : B :: C : D$$

$$X : Y :: M : N$$

$$\frac{B}{A} = \frac{D}{C}$$

$$\frac{Y}{X} = \frac{N}{M}$$

各項の 比 値

$$\frac{B \times Y}{A \times X} = \frac{D \times N}{C \times M}$$

$$A \times X : B \times Y ::$$

$$C \times H : D \times N$$

第十二款 比例式數ある率を移す之を除き又  
一量の比例式を生ず

$$A : B :: C : D$$

$$X : Y :: M : N$$

$$A \times D = B \times C \quad (1)$$

$$X \times N = Y \times M \quad (2)$$

除き (2) 式を  
(1) 式に

$$\frac{A}{X} \times \frac{D}{N} = \frac{B}{Y} \times \frac{C}{M}$$

$$\frac{A}{X} : \frac{B}{Y} :: \frac{C}{M} : \frac{D}{N}$$

第十三款 比例式ある率或は後率に同数を乗し或は  
同数を以て之を除くは成りぬべし

$$A : B :: C : D$$

$$4 \times D = B \times C$$

各  
項へ  
を  
乗  
ず

$$a \cdot A \cdot D = a \cdot B \cdot C$$

$$aA : aB :: C : D$$

$$A : B :: aC : aD$$

$$A : aB :: C : aD$$

前  
式を  
除  
き

$$\frac{A}{a} : \frac{B}{a} :: C : D$$

$$A : B :: \frac{C}{a} \cdot \frac{D}{a}$$

$$A : \frac{B}{a} :: C : \frac{D}{C}$$

第十四款 三量の数に於ては比例式の時より前比率後率  
率を以て前比率自乗と中率自乗とは比例式を成す

はべし

$$A : B :: B : C$$

$$B^2 = AC$$

各々  
A  
或  
乘

$$AB^2 = A^2C$$

$$A : C :: A^2 : B^2$$

第十八款

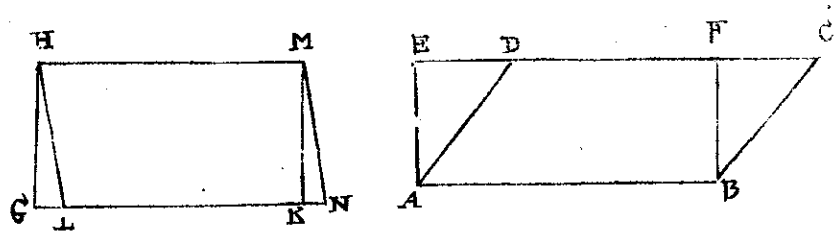
兩平行四角あり其後同ーけしハ一の底より

或外率とし他の底より内率とあり比例式なり

あるべし

ABCD, LNMH 兩平行四角とせば AB, BF

外率として LN, NR ハ内率あるべし



$$AB \cdot BF = LN \cdot MK$$

之ニ依り  
之ハ比例  
とせば

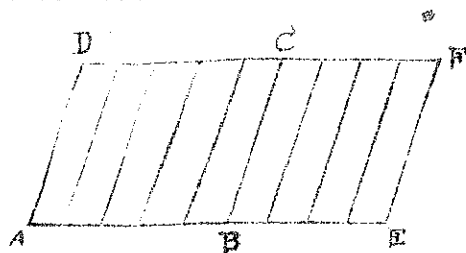
$$AB : LN :: MK : BF$$

即本款ノ後述を  
るが如し

証平行四角の積ハ底ノ字を乗せし者ハ A  
B と BF 乘ハ ABCD の積ハ LN  
MK 乘せし者ハ LNMH の積あり蓋  
し此方形の積ハ亦同し故

才十六款

とハ互に比例すべし



ABCD及AEFDは同高なるを斜方形としAEは九分としABをあた同じ刻より五分分し此分点を母を数くADとより線を書き九分のおろした斜方形を生きて其一筆を九とせばAEFDの斜方形は九の小斜方形なりしABCDの斜方形は九の小斜方形なりとせり故に

附一

$$\frac{AEFD}{9} = n$$

$$\frac{ABCD}{5} = n$$

ねしお于  
りた字比

$$\frac{AEFD}{9} = \frac{ABCD}{5}$$

$$9:5 :: AEFD:ABCD$$

互換並其  
バ申申成位

$$ABCD:AEFD :: 5:9$$

$$\therefore AB:AE$$

三角形の底を斜方形に等しければ其積ハ斜方形の二分の一に等した故次の一条は

同線より底を有する三角形に等しければ其三角の積と底とハ互に比例するなり

附二 同様なる三角形ハ其底及高同シ故

兩直三角形あり其底等シければ積と云くハ互ニ比例するなり

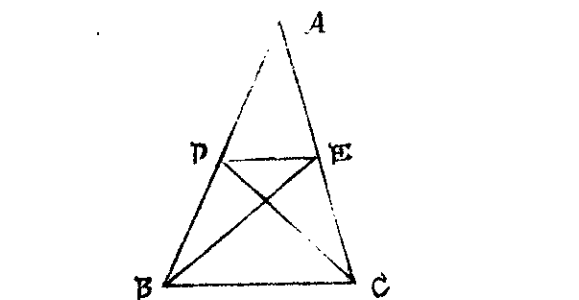
附三 兩斜方形あり其底等シければ積と云と

ハ互ニ比例する

第十七款 三角形中其底と平行ノ線を畫せば其積ハ比例する

ABC 或三角形とし DE 或 BC の底と平行ニ畫し BE 及 DC 或畫する時ハ ADE 及 BDE の面積ハ其底一直線中ニあり其高同シ故

款附ニノ依リ次ノ比例なり



$$\triangle ADE : \triangle BDE :: AD : DB$$

此ノ依リ

$$\triangle ADE : \triangle DCE :: AE : EC$$

BC 及 DC 或の面積ハ BC と DE 或ノ平行線中ニあり其底 DE 或ノ面積ハ有るが故ニ第一ノ款ノ依リて其高同シ故なり

$$AD : DB :: AE : EC$$

附 三角ノ形ハ各辺等シければ比例する

13  
べし

亦款に依り次の比例なり

$$AD : DB :: AE : EC$$

$$AD + DB : DB :: AE + EC : EC$$

$$AD + DB = AB$$

$$AE + EC = AC$$

故

$$AB : DB :: AC : EC$$

$$AB : AC :: DB : EC$$

1 依り 2 理 同

$$AB : AC :: AD : AE$$

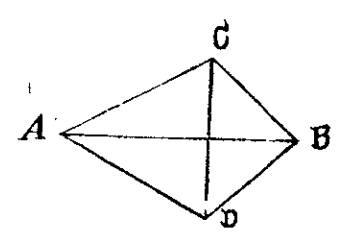
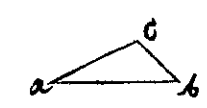
故 1 角 の 角 古  
2 角 諸 形 三

$$AD : DE :: AB : BC$$

$$AE : ED :: AC : CB$$

才十六款 高三角形あり毎辺互に比例あるを時ハ字

角三角形より字形也



んがC三角形よりABC三角形と毎辺互に比例する者としAB辺のAよりa角は比してBAD角なりBよりb角は比してABD角なり作る時又卷一才十一款附二に依りD角とa角は等し知る故にABD三角形ハabc三角形と等角や依り次の比例なり

幾何學新編 卷之二 第二十二

$$ac : ab :: AD : AB$$

$$ac : ab :: AC : AB$$

第六款  
又 是 藉

$$AD : AB :: AC : AB$$

$$AD = AC$$

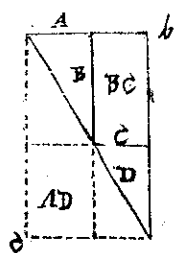
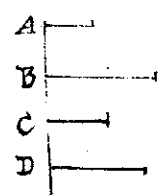
同 理  
は じ

$$BD = CB$$

AB 二線同ある故に ABC と ADB の二三角形ハ三辺皆相等し是故に卷一第二十款に依りて  
由形より形也蓋し ADB 三角形と ABC 三角  
形より角ある故 ABC 三角も亦等角にして等形

あり

第十九款 次より比例あるを四線あり其外率線成り  
て凡より長方形の積ハ四率線を以て凡りある  
長方形の積を以てし



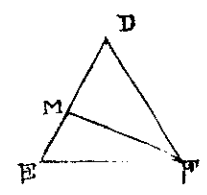
AB 二線より一端を直角に合して其外端を  
CD も亦ぬりて了る上端よりぬくC端  
或B端と直角に接するは此二三角形ハ各  
直角なり且其四角互に比例する故に  
七款附一に依りて等角ある故なり又B及C  
の一端より了る等角なり其外端を以て

幾何學新編 卷之二 第二十二



直角よりB及Cの直線ハ直角を成る一A、B、C及  
 D線より一端ハ共ニ長方形を成るの等角線を結ぶ  
 故卷之一才三十款に依りてAとDを乗せし者ハ  
 BとCを乗せし者ニ等し

第二十款 等形なる三角形あり其積と名の同数也 自乗  
 とハ互ニ比例するを以てし

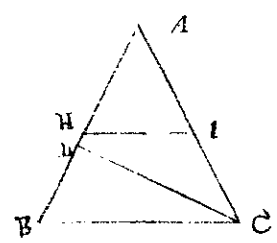


A、B、C及E、F、Dを各三角  
 形としC、L及M、Pを各A、B  
 及E、Dと結ぶを畫せば  
 三角形DEFの形あり故

$$AB : DE :: LC : MP$$

$$AB : DE :: AB : DE$$

各々率  
 に従て  
 乘を



$$AB^2 : DE^2 :: LC \cdot AB : MP \cdot DE \text{ の}$$

卷之一才二十九款に依  
 りてA、B : L、Cを乗せ  
 一者ハA、B、C三角積  
 一者ハD、E、F三角積  
 一者ハD、E、F三角積  
 也故

$$AB^2 : DE^2 :: \triangle ABC : \triangle DEF$$

故も由換を重て

$$\triangle ABC : \triangle DEF :: AB^2 : DE^2$$

第二十一款 等形なる多角形あり各の同数角より等角線  
 を畫し各形を同数の三角形に分てば其三角  
 形ハ等形より互ニ比例を為すべし

右より除せ

(1) と (2) をあきらかにするに、 $AB$  後率を  $a$

$$\angle ABC - \angle ABE = \angle abc - \angle abe$$

$$\angle EBC = \angle ebc$$

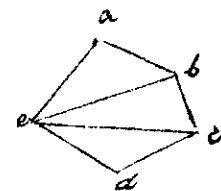
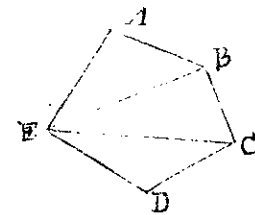
右の図に、 $AB$  角と  $BC$  角の比は、 $AB : BC :: a : b$

$$AB : BE :: ab : be \quad (1)$$

又右の図に、 $AB$  角と  $BC$  角の比は、 $AB : BC :: a : b$

$$AB : BC :: ab : bc$$

$$BC : AB :: bc : ab \quad (2)$$



$$EA : AB :: ea : ab$$

右の図に、 $EA$  角と  $AB$  角の比は、 $EA : AB :: ea : ab$

又右の図に、 $EA$  角と  $AB$  角の比は、 $EA : AB :: ea : ab$

$$BC : BE :: bc : be$$

故に EBC と ebc の三角形ハ等角  
形也。逐次以此比較せば、右三角  
形等角あり。故に本款に從てす  
るがごとし

第二十二款 等形兩多角形、周回ハ同數也。互ニ比例  
あり。其積と同數也。自乘とハ又互ニ比例あり。

べし

其款の品を用ゆ

才一 周回と同數也。互ニ比例するを証す

兩多角形、其角等しければ、周回ハ同數也。互ニ比例する

$$\begin{array}{l} AB : ab :: BC : bc \\ AB : ab :: CD : cd \\ AB : ab :: DE : de \\ AB : ab :: DA : da \\ AB : ab :: AB : ab \end{array}$$

第七款  
依て

$$AB : ab :: AB + BC + CD + \dots$$

$$: ab + bc + cd + \dots$$

第二 積と同數也。自乘と互ニ比例するを証す

第二十三款の依り

兩多角形は等形ある故上式は率の比  
支那の字しぬ

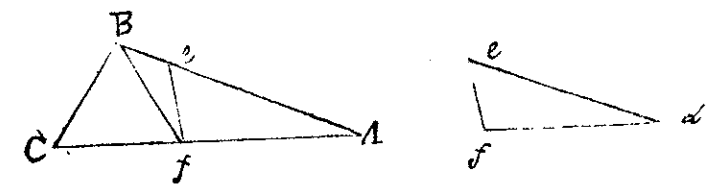
$$\begin{aligned} \triangle EAB : \triangle eab &:: \overline{AB}^2 : \overline{ab}^2 \\ \triangle EBC : \triangle ebc &:: \overline{BC}^2 : \overline{bc}^2 \\ \triangle ECD : \triangle ecd &:: \overline{DC}^2 : \overline{dc}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \triangle EAB + \triangle EBC + \triangle ECD : \triangle eab + \triangle ebc + \triangle ecd &:: \overline{AB}^2 : \overline{ab}^2 \end{aligned}$$

即

$$ABCDE : abcde :: \overline{AB}^2 : \overline{ab}^2$$

第二十三款 兩三角形あり一角相等しければ此角に接する二邊の乘積と互に比例すべし



ABCのefはA及Cなる角に等し  
 兩三角形と1deの三角形はABCの  
 三角より置たれ故AとCはABとBC  
 するバA角ハC角と等し故efはA  
 Cと一線すべし  
 今ABとACの二辺中みef及deと等  
 し距離よりef二点に記しefを畫す  
 第十六款附一に依り夫等なる三角  
 形は積と底と互に比例故めを故

$$Aex : ABx :: Ae : AB$$

$$ABx : ABC :: Ax : AC$$

率は從ふ  
式は衆し  
あらば AB  
x して除き

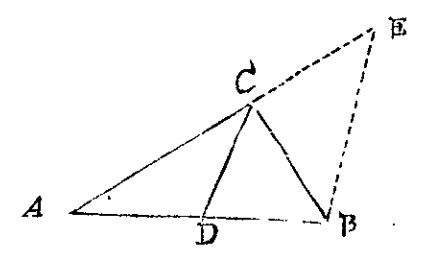
$$Aex : ABC :: Ae \cdot Ax : AB \cdot AC$$

即

$$Aex : ABC :: Ae \cdot Ax : AB \cdot AC$$

第二十四款 三角形の一角を延長する線と其の對邊の延長とを結ぶ線とを以て其の對邊の二部分の比は對邊の二部分の比に等し  
ABC 三角形とし CD を AC 角を延長する線とし AC 角を延長し CE を CB と等しかるし

の BE 線は



ABC 三角形の頂角 ACB は BE 角と EBC 角の和  
を以て又 CBE 角と等し故に BE 角と EBC 角  
を以て蓋し AC 角は ACB の二分之一に  
角と等し故に卷之二の款に依りて CD  
は BE と平行なるを知る故に才十七款に  
依りて次の比例なり  
AD : DB :: AC : CE  
又 CE は CB と等し故に本款に依りて  
AD : DB :: AC : CB なる如し

第二十五款 直三角形の直角より斜辺に鉛直線を下す  
時ハ次の三件を生む

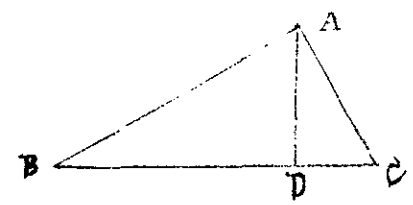
其一 直三角形の直角より毛線を下せば兩邊の  
等しく三角形を生む

其二 直角より垂線を下して斜辺を分せば  
毛線ハ斜辺の兩部と中比例を為す

其三 斜辺の兩部分ハ他二邊自乗と互に比例を  
為す

其一証  $AB$  及  $ABD$  三角形ハ共に  $B$  の直角を  
有して  $BAC$  の直角と  $BDA$  の直角ハ等し

故に餘角亦等し是故以て各三角形ハ等角  
なる故に同様に依り  $ADC$  の三角形も亦等角形ある  
を會はるべし



其二証 等角三角形の等角を挟む二辺ハ互  
に比例を為す故

$$BD : AD :: AD : DC$$

同 理  
に 依  
る

$$BC : BA :: BA : BD \quad (1)$$

$$BC : CA :: CA : CD \quad (2)$$

故に斜辺と長部と短部  
と中比例を成し短部  
と中比例を成す

其三 前式の(2)より

$$\overline{BA}^2 = BC \cdot BD$$

$$\overline{CA}^2 = BC \cdot CD$$

次式を以て  
一式を除く

$$\frac{\overline{BA}^2}{\overline{CA}^2} = \frac{BD}{CD}$$

$$\overline{CA}^2 : \overline{BA}^2 :: CD : BD$$

附

斜辺自乗ハ他二辺自乗の和ニ等シ

其三 證の  
二式を  
方加ふ  
日分

$$\overline{BA}^2 + \overline{CA}^2 = BC \cdot (BD + CD)$$

$$= BC \cdot \overline{BC}^2$$

幾何學新編附錄

設題

第一

一線上に他線が交接して右方に成る角七十五度ある時ハ左角幾何

第二

甲乙二角の其外角が平行なるときありて乙角の一辺を延長して形外に成る角を求む

但し甲角八十度也

第三

斜方形あり一角六十度ある時其他角各半なるを求む

第四

三角形あり内角二箇の和五十五度ある時

又他角幾許

第五 五角形あり内角四箇の和四百九十度ある  
る時、殘角幾許

第六 一角三十度あるあり此兩脚の或るより  
垂線を下りて交接せしめば其交点の角幾許

第七 等脚三角形あり底の等角三十度ありせば  
他の二角各幾許

第八 梯形あり平行の二線八尺及二十尺より  
他二辺各十尺也殘幾許

第九 等脚三角形の底六寸より等角六十度ある

る時、他の角及辺各幾許

第十 勾股形あり一角三十度ある時、他角幾  
許又勾股十二寸とせば幾許

第十一 平行線二條間の距離十寸とし長二十寸  
の斜線を一線より他線に接せしむるより幾角幾  
邊何ありとある哉

第十二 平行線二條間の距離二十寸とし四十寸  
のより斜線を一線より他線に接せしむるより幾  
角幾邊何ありとある哉

第十三 等距離の距離八寸あるあり其一線の或



る点より兩線が盡し、他は接せしむる、一線ハ  
十二寸一線ハ十五寸あり接点の巨濶幾何

第十四 平行線より巨濶十二寸あるあり今一線  
の一点より二十寸及十八寸なる二線が盡して他  
線に接せしむる時ハ其接点の巨濶及至三角積

幾何

第十五 鈍三角あり底六寸ハ分ち左右二匹の各  
一尺五分及六寸五分也各頂点より垂線を下す時ハ  
底が幾何寸延長して正ハ其垂線と合ふ時  
なり

第十六 三角の底ハ尺右邊四尺あるあり各頂点  
より垂線を下して底が右三尺左五尺五分と云  
然る時ハ左邊の長幾何

第十七 与る三角あり底が伸を六尺其端より  
頂点に至る斜線の長十尺也依て同三角の幾何  
第十八 三角の底邊十六尺あるあり各頂点よ  
り底の居中を畫する線十尺ありと云時ハ他二  
邊各幾何

但し二匹の差五尺也

第十九 斜方形の各角線二十寸及 $\sqrt{4}$ 寸あり

二邊の差ハ寸や名を幾何

第二十 三角形の右傍角より等距離に兩點を引く線  
を畫する時ハ新し原三角と同底の三角形を生じ  
此三角積と原三角積との比は何ある哉

第二十一 梯形の平行四十二寸及ハ寸より一寸五寸  
あり積幾何又互に斜線互に交接するを延長し  
成る三角積幾何

第二十二 三角形あり左右邊五寸三十四寸及ハ寸  
三寸より一底六寸九寸七寸也々頂角を等分する  
線を畫し一底を五分せば其部分各幾何

第二十三 右三角形あり斜四十二尺あり一底角より  
下を斜に線引くと七尺と五尺に分つと他  
三邊各幾何

第二十四 句股形あり句十二尺股十六尺也々直角点  
より垂線を下して弦を二分せば其各幾何

第二十五 句股形あり句股の比二と三より一弦五寸  
あり句股各幾何

第二十六 三線あり右のあり下線より中線は五寸  
距離九寸中線より上線は五寸距離七寸也々上線  
の一点より中線に或る点に畫する線一尺にして中

線のはしより下路の或る点と畫する線一尺一寸ありと云ふ時ハ上線点より下線点との斜線幾何及一尺と一尺一寸の二線とは斜線は依て来る三角積幾何

第二十七 地球の半径を一と云ふた後との距離を六十と一太陽との距離は此の倍と爲す時ハ太陽の直径幾何

但月の全直径を六十と云ふと三星の中一一直線中を在りと云む

第二十八 言二丈四尺の家あり或人は家より四丈距

利あるより此家より後を在る塔の頂上を底端と一直線と見ると云然る時ハ此人より塔との距離幾何

但し塔の高を四十八或五尺や

第二十九 尖石塔あり頂点より底端に至る傍斜の言る四十八或五尺より其斜あると四十八或五尺あり人あり石塔の底端と一直線ある或る所を二十四尺の棒を建て此下端より四十尺後より石塔の頂上を底端と云ふ一一直線中を在りと云ふ人より石塔の頂点との距離幾何

第三十

句支形あり又重なる三十八尺勾四十九尺  
三尺玄子にる二十五尺や々勾よりある線は  
以て及玄はあふる時ハ各長幾許

但大三角形と小三角形の比三と一の如し

第三十一

句支形あり句玄より依て成る角六十なる  
一勾三にる二十尺也又玄及餘角幾許

第三十二

三角形あり底九尺左辺八尺右辺七尺や々  
底に一点を設け此点より右辺に平行し左辺と線  
を畫し又左辺に平行し右辺と線を畫し左右辺  
を分る此部分各幾許

但底より一点より左傍角との距離五尺也

第三十三

梯形あり右斜邊ハ尺や々此辺に五尺と三  
尺より一つ點を一点を記し此点より底と平行に線  
を畫し右辺を二分する若三尺也右辺幾許

第三十四

三角形あり二脇各十五尺底九尺より頂  
角点より左辺と右角をなすべき線を畫せば底を  
分る勾伸より底を此線に接する部

第三十五

或人其居所より川を隔る處に二塔との巨  
高を知らんと欲し其居所の或る場所より各長  
を五十八尺の二繩を二塔の方向に引たり此繩

端の距離より六十八尺也と云はれとの距離幾何

但し二線名の距離三寸三厘也

第三十六 三角形の左傍角三十二度右傍角八十四度  
あるありと底の一端を延長せば一角形外に生ず  
は角及左傍角を等分する線を畫して互交せしめ  
バ其交点の角を幾何

第三十七 平行線より一線を曳けば線と平行線は依  
て與る二邊の角を等分する線を畫せば平行線  
内れ新し三角形を生ずべしは三角形の種類は何  
もある哉

第三十八 梯形内れ兩基角線を曳く時ハ平行線を底  
とよめるる三角形を生ずは三角形ハ等形ありと  
云ぬ何して其理を知る事

第三十九 或る三角形の底端より三角形の或る点れ  
線を曳く時ハ又新し三角形を生ずは三角形の頂  
角ハ原三角形の頂角より大なり他二角の和ハ原  
三角形二角の和より小やと云其故ぬ何

第四十 梯形あり平行の二線十二尺及二十尺也後  
邊あり又十尺五寸の線を右斜線に接しと底と  
平行に畫する時ハ梯形は二等分されし其各

の積算なり

但積算の言ハズ也

第四十一 字巴各二十寸底十二寸ある三角形あり言  
及積算なり

第四十二 勾支形あり玄四尺五寸勾支一差ハ寸四  
分五厘あり勾股算なり

第四十三 字題ニ於テ直角を字分する線を申せり  
玄を分する時ハ此を都分右幾なり

第四十四 勾支形あり玄三尺五寸ある一丁中内を分む  
方形の面一尺二寸あり勾支算なり

第四十五 極形直三角あり此図を分む方形の面十二  
寸あり勾支幾何

第四十六 二字巴三角形あり底六尺字巴各十尺也  
底の傍角を分する線を申せり云々  
分右幾なり

役題答

第一

百五畝

第二

百畝

第三

六十畝及他二角各百二十畝

第四

三十畝

第五

四十畝

第六

百五十畝

第七

七十畝

第八

百十二坪

第九

各四六寸各角六十畝

第十

六十畝及廿四寸

第十一

三十畝及百五十畝

第十二

2072

第十三

十八寸六分九厘或八六寸六分九厘

第十四

二接点下の距離二尺五八四或八二十九尺四一六

三角積 十五坪五斗九厘余或八百七十六坪四分九厘六毫

第十五 一尺六寸

第十六

小

第十七 五尺五寸四

才十八

大田十五尺。五、小田十尺。五、

才十九

八寸及十六寸 第廿 三と一のごとし

第廿一

梯形五十坪 三角積四十坪及九十坪

第廿二

四百二十百六八四及二百七十六百三一六

第廿三

勾  $2\sqrt{17}$  又  $2\sqrt{21}$

第廿四

十二尺八寸 及七尺二寸

才廿五

勾四寸 又六寸

第廿六

像の長二十寸八九或ハ十六寸。二九

三角積十坪弱或ハ五十四坪二七二三

才廿七

ハ十六畝四斗里

才廿八

二百四十七丈五尺

才廿九

二斗〇四斗尺九寸四分余

才三十

玄四百七十五尺八寸四百四十六尺

才卅一

三十畝又五百五十四尺二寸 玄六百四十尺

才卅二

右田の部々三尺九分一及三尺九分八

左田の部々四尺九分四及三尺九分五

才卅三

十二尺

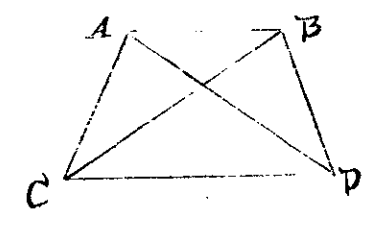


第卅五 凡方畧四千五百五十九尺

第卅六 左傍角子

第卅七 正三角

第卅八



ABACD

と平行故卷

之一才五款

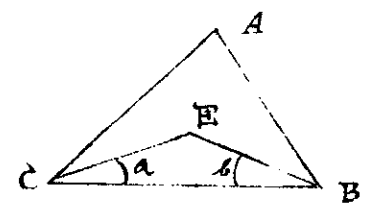
子依

$$\angle DAB = \angle ADC$$

$$\angle ABC = \angle BCD$$

より四角ハ各形ハ角故等形ホ知る

才卅九



$$\angle ABC > b$$

$$\angle ACB > a$$

$$\angle ABC + \angle ACB >$$

$$b + a$$

$$\angle ABC + \angle ACB + \angle A = 2R$$

$$\angle a + \angle b + \angle E = 2R$$

より極A角ハ四角  
より小ホ知る

第四十 百廿八坪 二十三坪八分一及九十四坪八分七

才四十一 高一尺九寸〇七 積百十四坪四二

才四十二 勾二尺七寸三余 爰三尺五寸七六余

才四十三 一尺九寸五分 二尺五寸五分

才四十四 二尺八寸 二尺一寸

才四十五 二辺各二尺四寸

才四十六

三尺四寸三

六尺六寸一

幾何學新編卷之二終

明治七年十月二十八日

官許

名東縣下阿波國新町橋筋

小川爲三郎藏梓